

目標達成計画

事業所名 グループホーム城東

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練は消防署立会いによって行うものの他、別に1回実施している。また、4ヶ月毎に非常災害設備の取り扱い説明、緊急時の対応に関わる勉強会を実施している。11月にも自主訓練を実施しているが、より回数を増やし定期的な自主訓練をすることが望ましい。	職員個々が、非常時の自身の役割を認識し、入居者様を避難誘導できるよう、定期的に自主防災訓練を実施する。	平成 25 年度後期より実施する。以降、年 2 回の自主防災訓練を計画的に実施する。	9ヶ月
2	26	昨年の課題において、1回/月のモニタリングを介護計画書上でも実施することとした。介護計画書の更新は現状6ヶ月毎としている。	3ヶ月毎に介護計画書の更新を行う。	介護計画書策定・更新の時期について見直しを図り、平成 25 年度後期から3ヶ月毎に更新するよう体制を整える。	9ヶ月
3	6	施設周辺は道路に囲まれて交通量が多く、コンビニエンスストアも隣接していることから車の出入りが多く、安全性を優先し、法人の方針としてホールの出入口は施錠をすることとしている。入居者様並びにそのご家族様には、入居検討段階の館内案内や契約時にご説明し、同意を頂いた上で施錠を実施している。	安全性を重視する観点から、施錠は継続して実施するが、入居者様に閉塞感を感じさせないよう、外出の機会を増やす工夫をしていく。	外食会や外出行事はこれまで通り約月 1 回のペースで継続していく。 これまで床屋さんは、月 1 回の美容師の訪問もしくはご家族様の外出に頼っていたが、ご希望時に利用が出来るよう、近隣の美容室と連携した。	6ヶ月
4	40	昨年の課題において、ゆとりを持って外食会などで一緒に食事が出来るよう 4~5 (入居者様) : 3 (職員) の同伴体制から、3 : 3 の同伴体制へ改善しているが、普段の食事を入居者様と同じ空間で食べる取り組みは、見守りの重要性を重視し、安全を勘案する法人の方針として行っていない。 また、当ホームにおいては、他のグループホームではお世話が難しくなった身体機能が著しく低下し、且つ重度認知症の方の受入れや看取り対応も積極的に取り組んでいる。そういった方が多いためか入居者様と一緒に食事を作ることが難しい状況でもある。	身体機能が低下し且つ重度認知症の方や看取りの方についても、楽しみながら、安全に食事ができるよう取り組む。	身体機能が著しく低下し認知症重度の方への対応を、個別的な支援として位置付け、味や温度、食感などを声掛けしながら食事を楽しんで頂く援助を行う。 また、看取りの方においても、食べられるものをおいしく経口摂取できるようご家族様との連携を図りながら取り組んでいく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の No. を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。